

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2026年3月期 通期 ～

2026年5月1日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況> 2026年3月期 通期業績

(単位:百万円)

	2025年3月期 通期 連結 (2024年4月～2025年3月)	2026年3月期 通期 連結 (2025年4月～2026年3月)	前年同期比 増減率(%)
営業収益	238,867	過去最高 284,630	+19.2
純営業収益	211,419	過去最高 242,540	+14.7
営業利益	77,128	過去最高 86,752	+12.5
経常利益	76,625	過去最高 90,458	+18.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	47,865	過去最高 53,604	+12.0

<決算概況> 四半期毎の業績推移

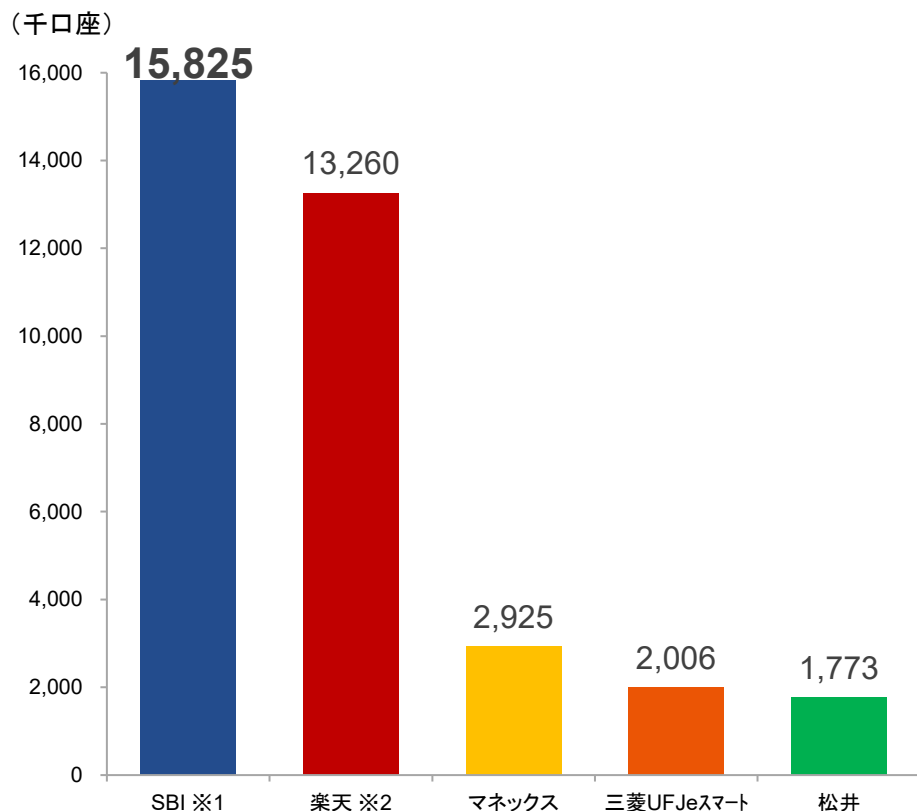
(単位:百万円)

項目	2025年3月期				2026年3月期				前四半期 比 増減率(%)
	第1四半期 (24年4~6月)	第2四半期 (24年7~9月)	第3四半期 (24年10~12月)	第4四半期 (25年1~3月)	第1四半期 (25年4~6月)	第2四半期 (25年7~9月)	第3四半期 (25年10~12月)	第4四半期 (26年1~3月)	
営業収益	56,751	58,998	62,676	60,441	62,109	66,724	78,349	77,446	-1.2
純営業収益	51,058	52,130	55,942	52,287	53,276	57,216	68,147	63,900	-6.2
営業利益	20,088	17,634	22,766	16,638	19,036	19,080	28,443	20,192	-29.0
経常利益	19,409	17,680	22,865	16,670	22,031	19,213	28,582	20,630	-27.8
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	13,305	10,240	15,385	8,933	13,980	14,048	16,658	8,916	-46.5

主要インターネット証券口座数比較

- 2025年11月、インターネット証券初の1,500万口座を突破。
- 2026年5月、インターネット証券初の1,600万口座を突破。

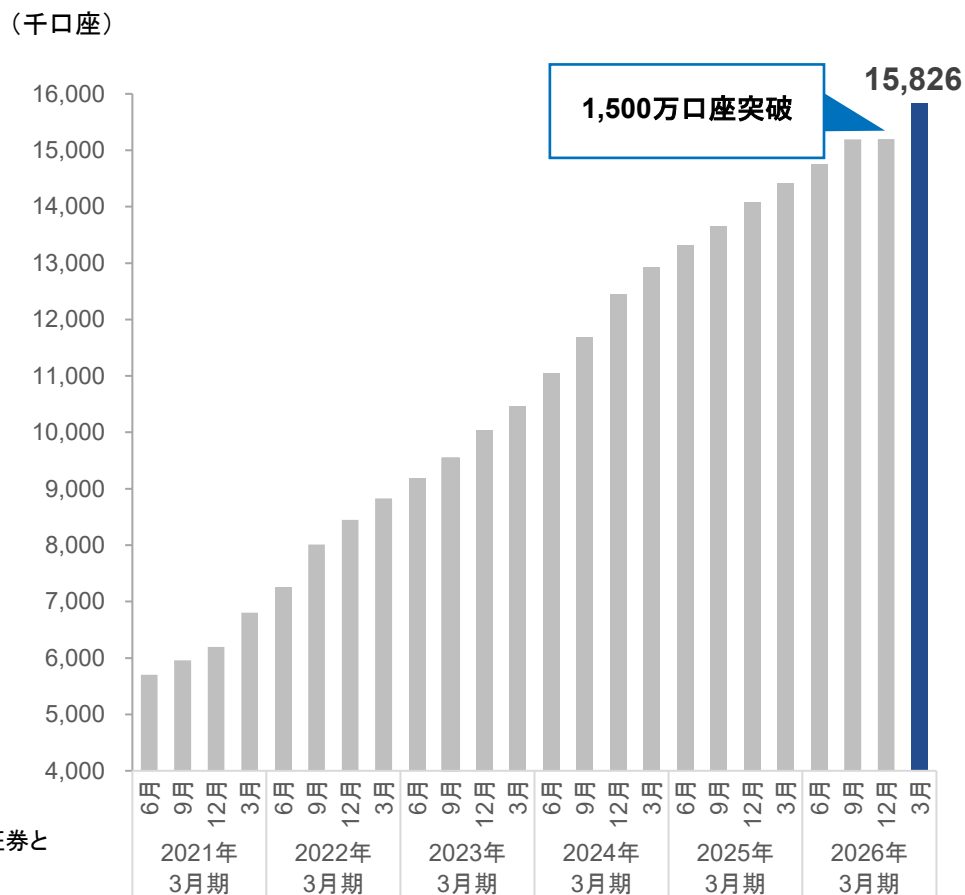
<主要インターネット証券5社の口座数> (2026年3月末時点)



※1 SBIの口座数には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の口座数、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数、2021年8月末以降FOLIO口座数を含む

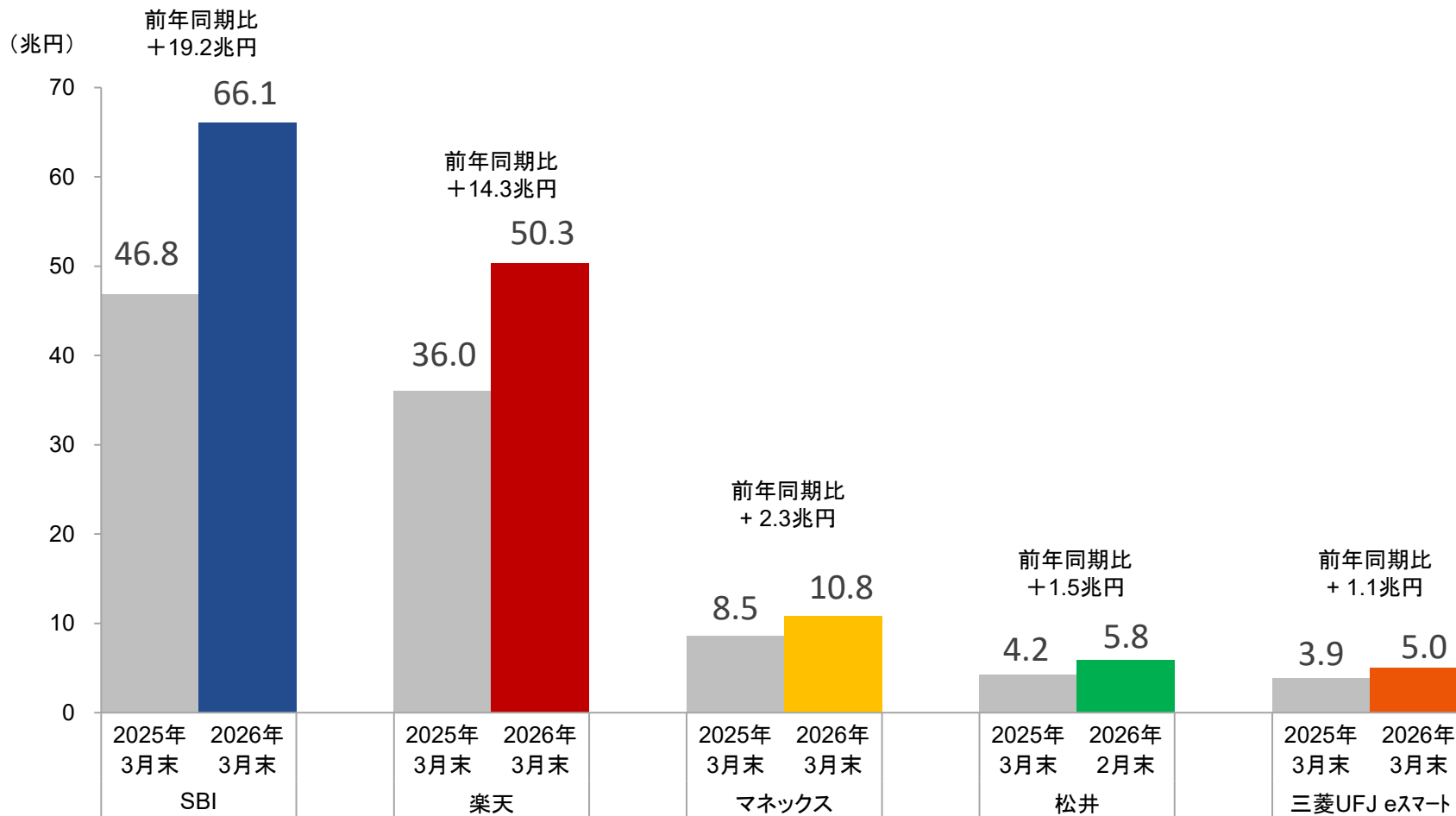
※2 楽天証券の口座数は2025年12月末の数値
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、三菱UFJeスマート証券

<口座数推移> ※1 (各月末推移)



主要インターネット証券の預り資産残高比較

- SBIの2026年3月末預り資産残高は前年同期比41%増の約66兆円。

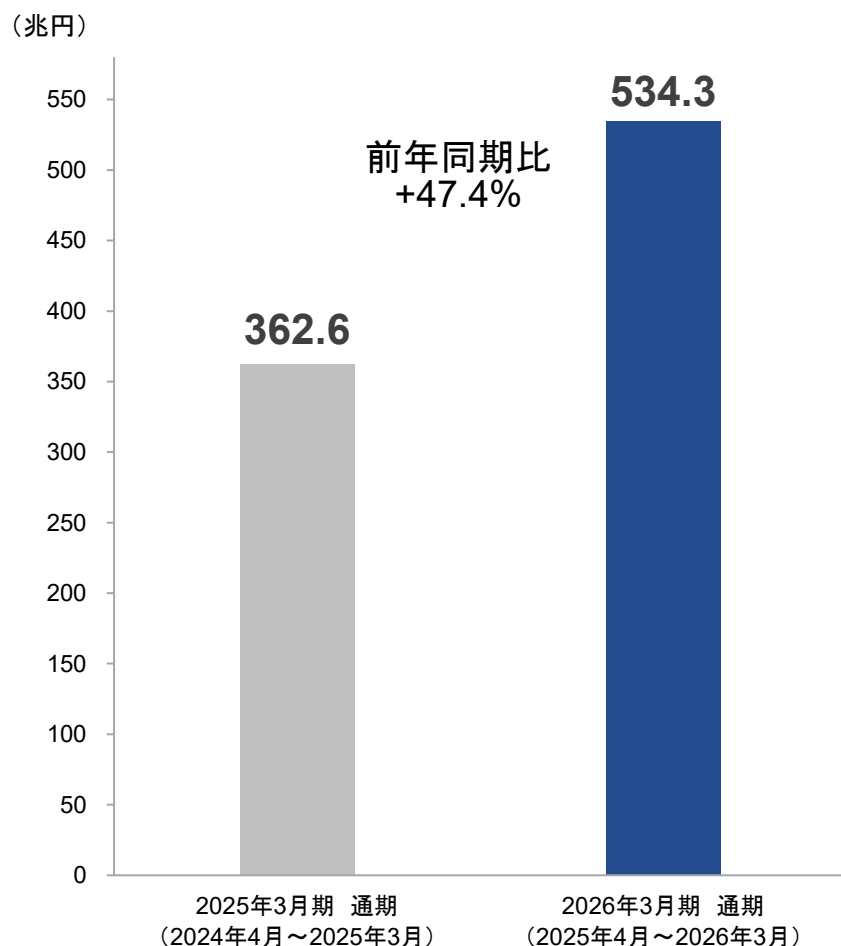


主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、三菱UFJ eスマート証券
 ※SBIの預り資産残高には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券(2024年1月9日、SBI証券と合併)の預り資産残高、
 2020年10月末以降SBIネオトレード証券の預り資産残高、2021年8月末以降FOLIO預り資産残高を含む

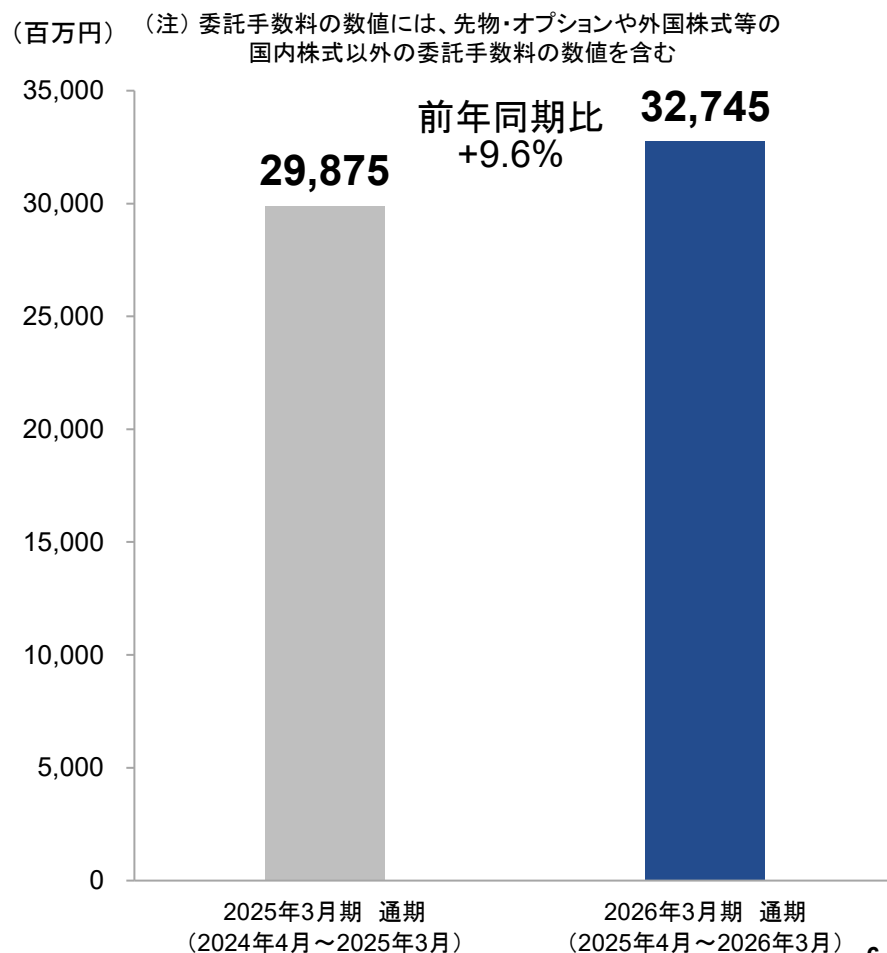
出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社集計

委託売買代金と委託手数料の動向

＜国内株式委託売買代金＞



＜委託手数料＞

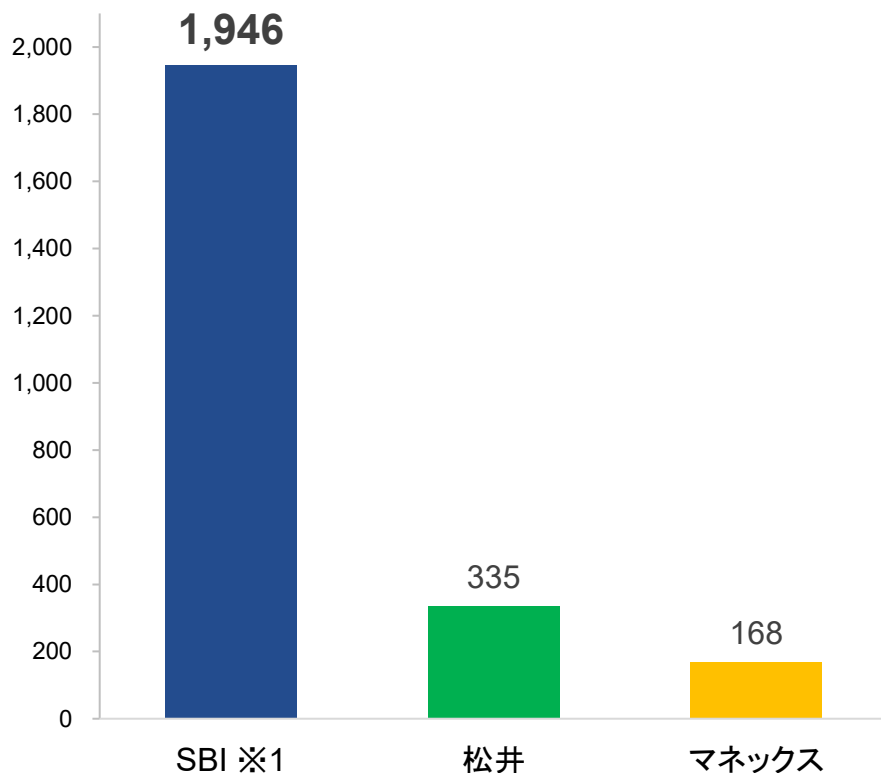


主要インターネット証券の信用取引口座数比較

＜主要インターネット証券の信用取引口座数＞

(2026年3月末時点)

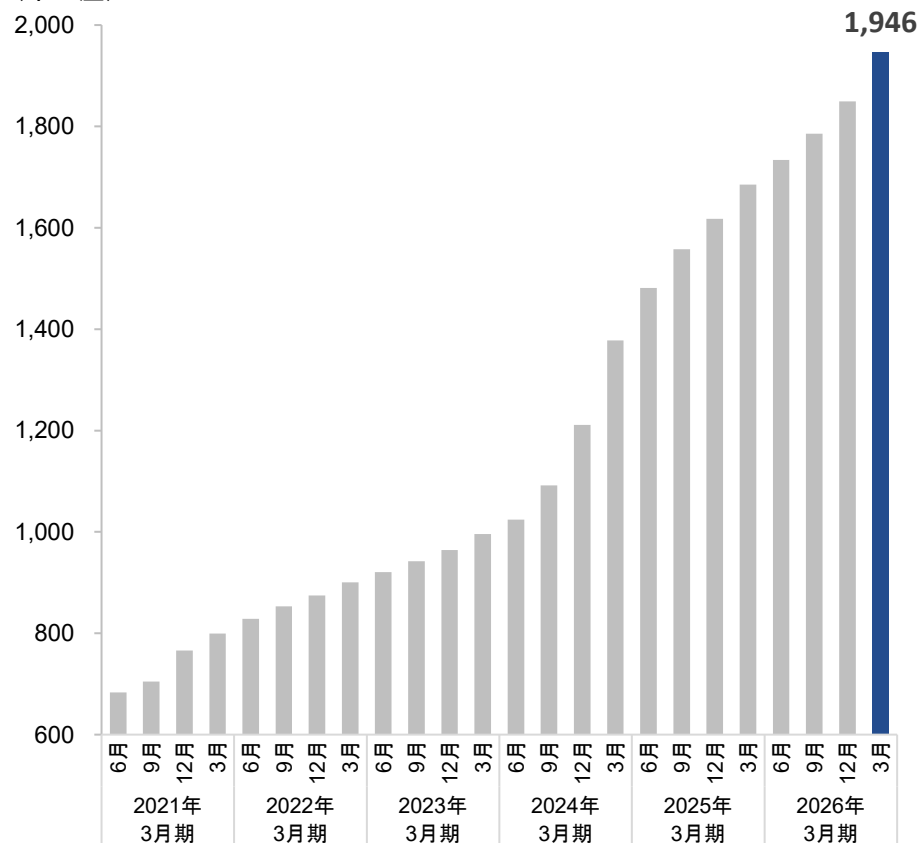
(千口座)



＜信用取引口座数推移＞※1

(各月末時点)

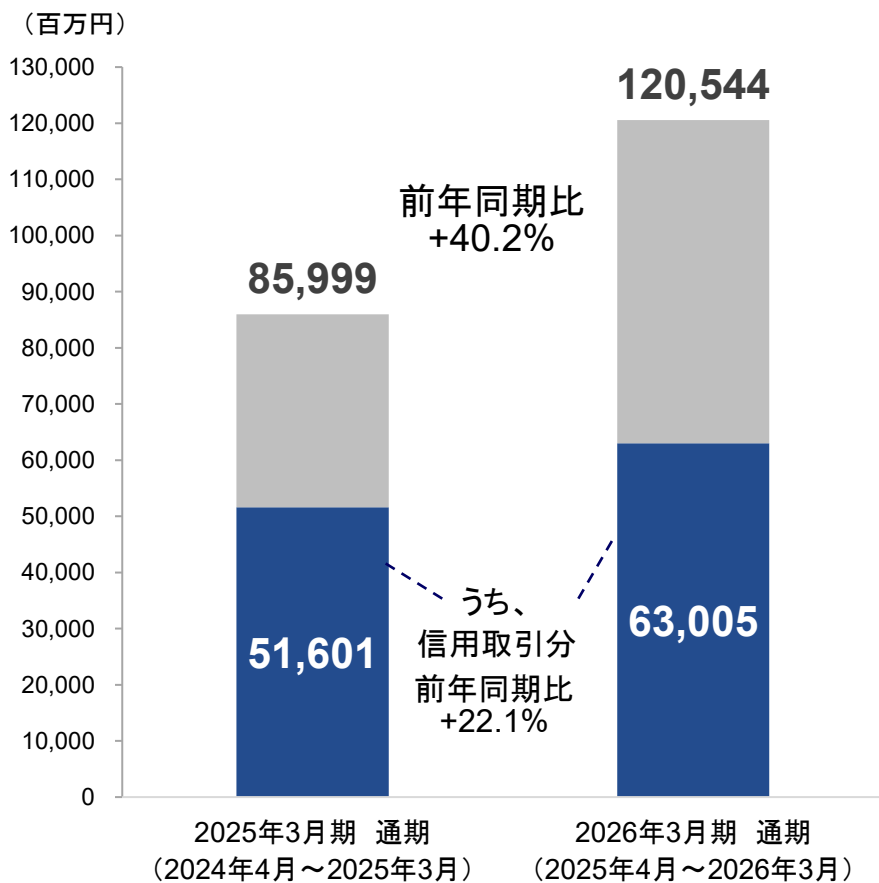
(千口座)



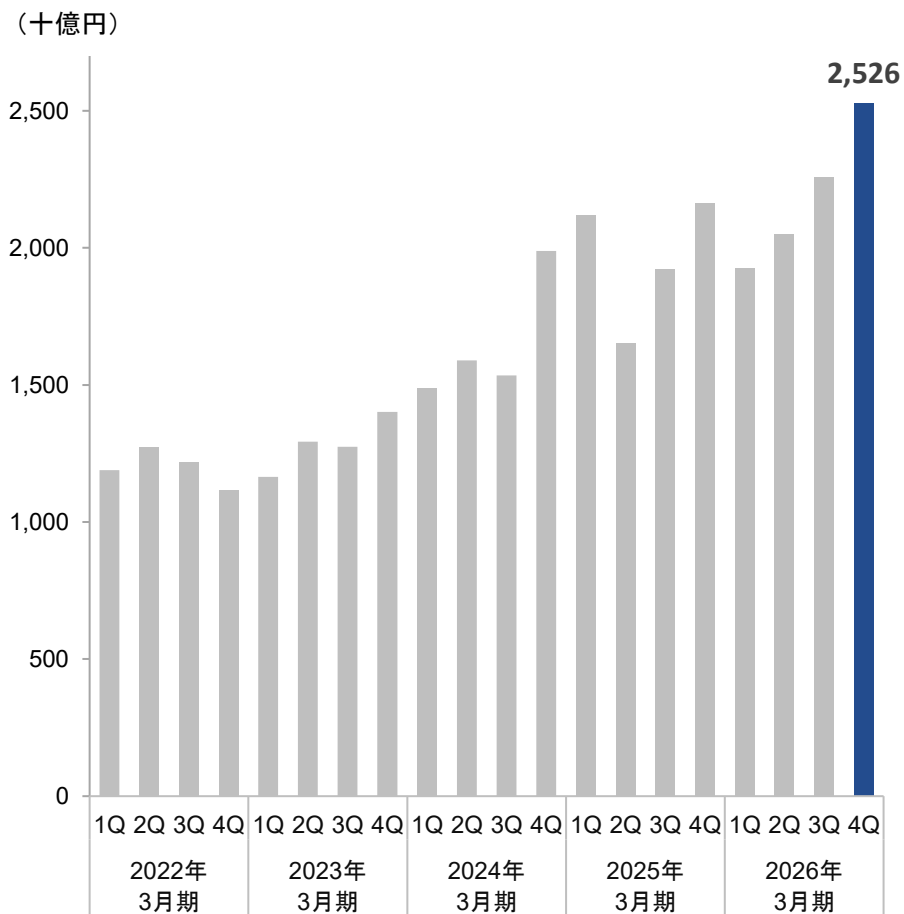
※1 SBIの口座数には、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数を含むデータを開示しているマネックス証券、松井証券及びSBI証券の3社の数値を比較

金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>



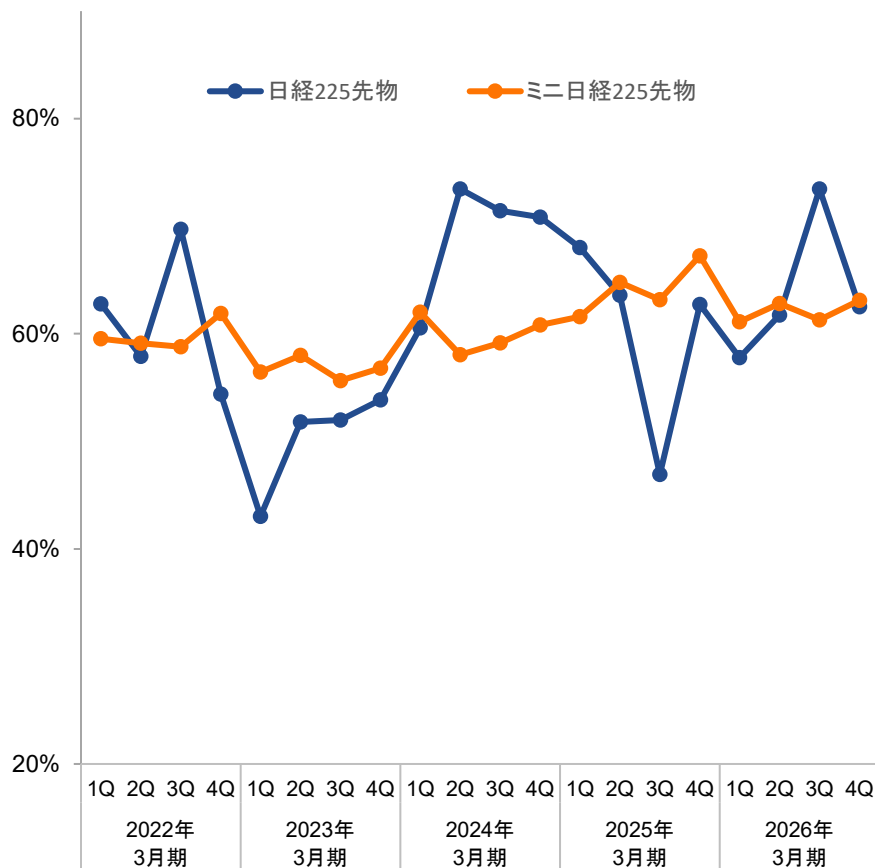
<信用取引建玉 月末残高の推移>



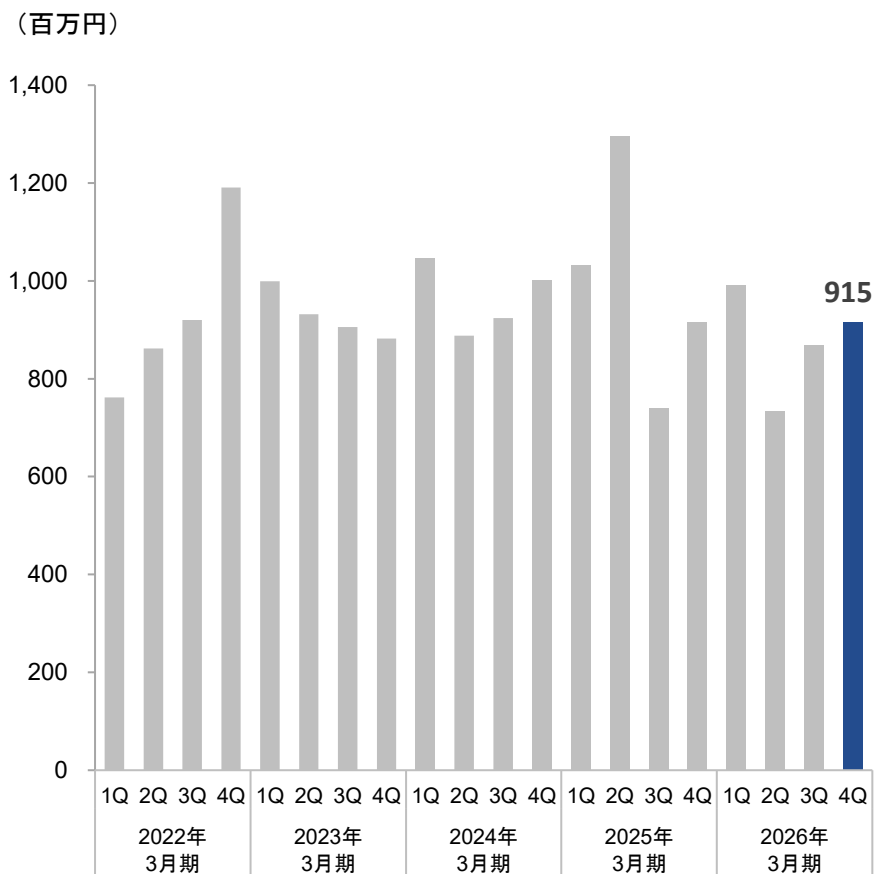
先物・オプション売買代金シェアと手数料の推移

- 先物・オプションの委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物・オプション 委託個人シェア>

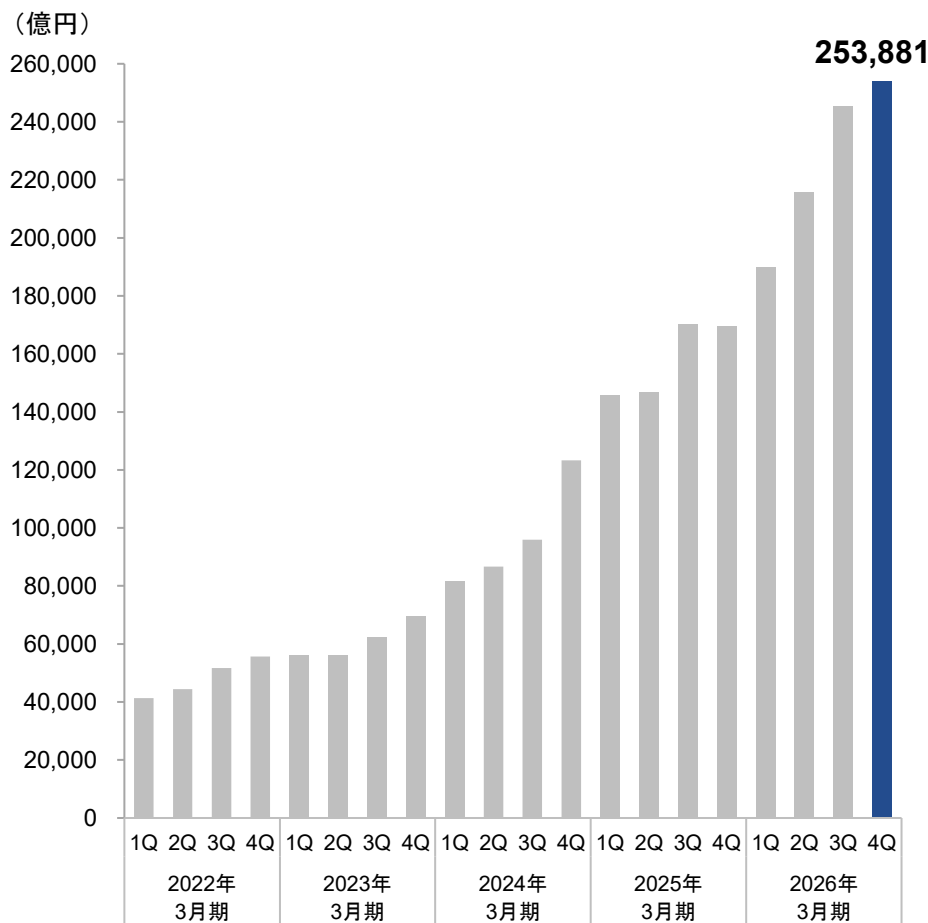


<先物・オプション収益>

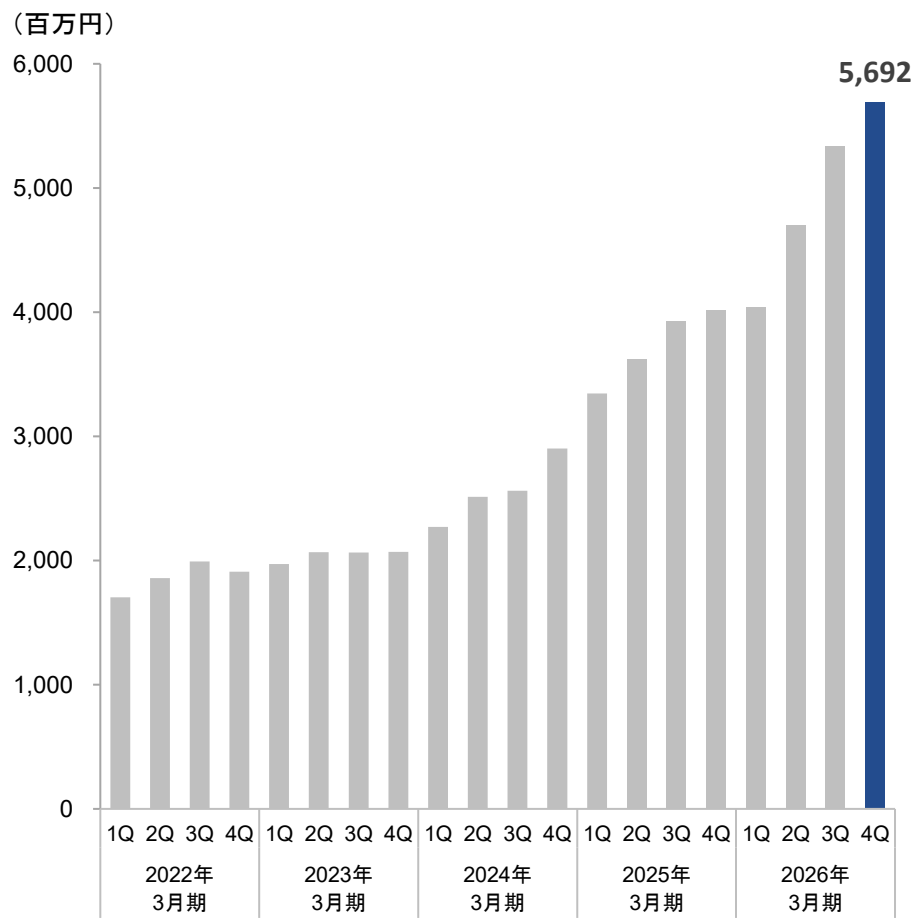


投資信託残高と信託報酬の推移

<投資信託 四半期末残高>



<投資信託 信託報酬額>

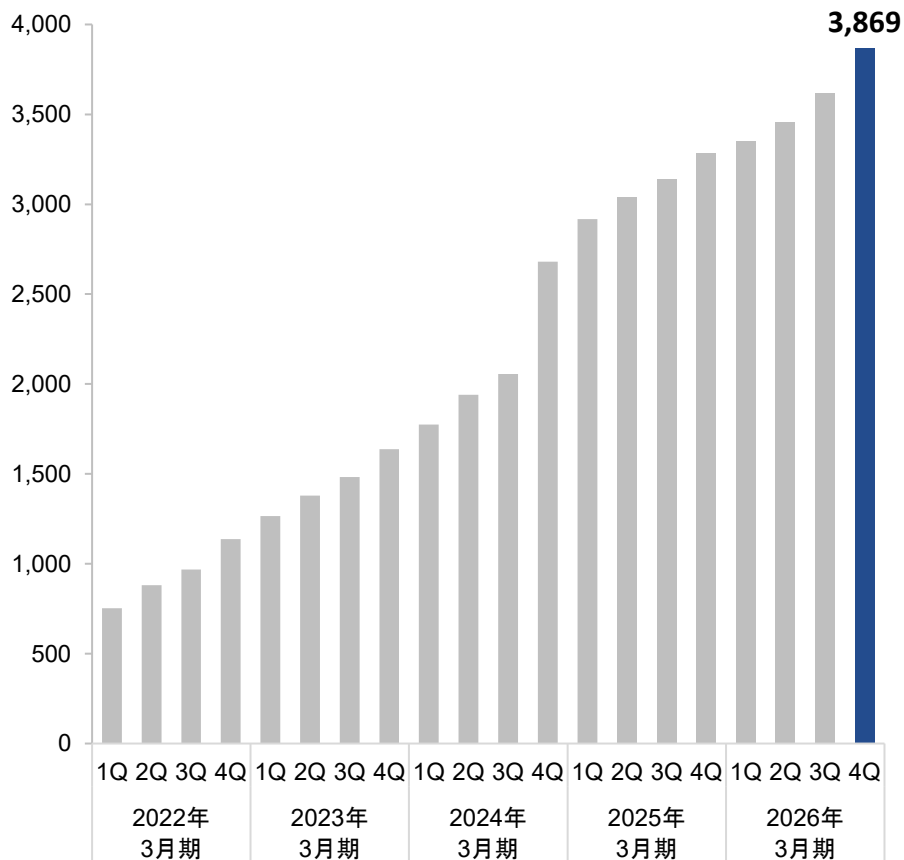


※国内外ETF、外貨建てMMFを含む

投信積立設定口座数・金額の推移と取扱商品状況

＜投信積立口座数の推移＞

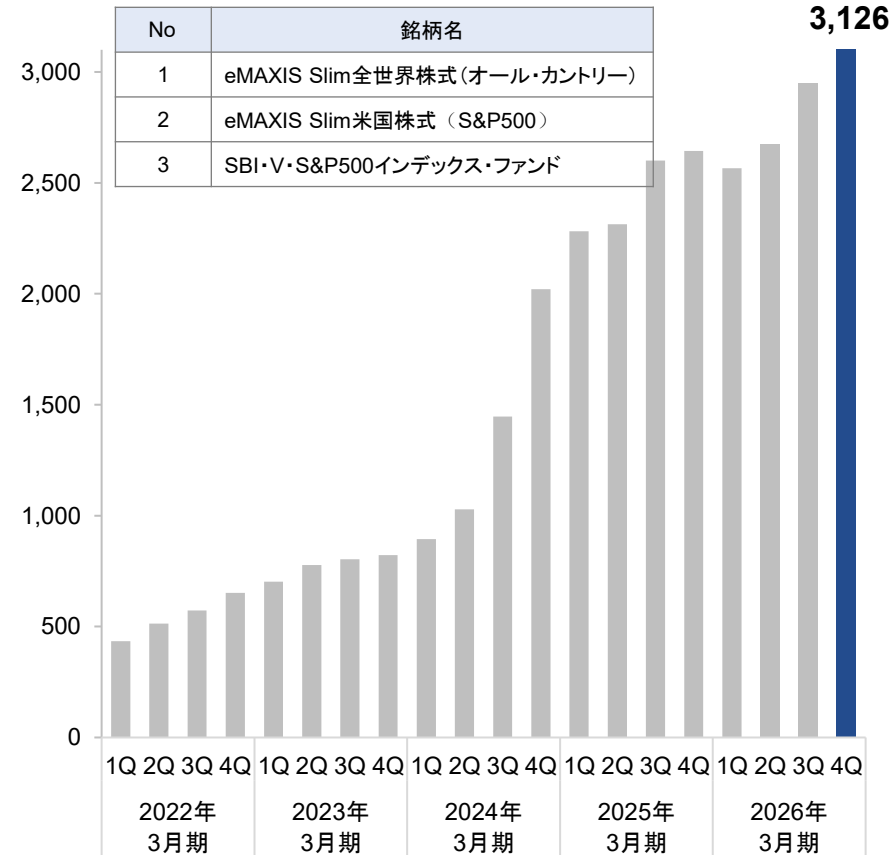
(千口座)



＜投信積立金額※の推移＞

(億円)

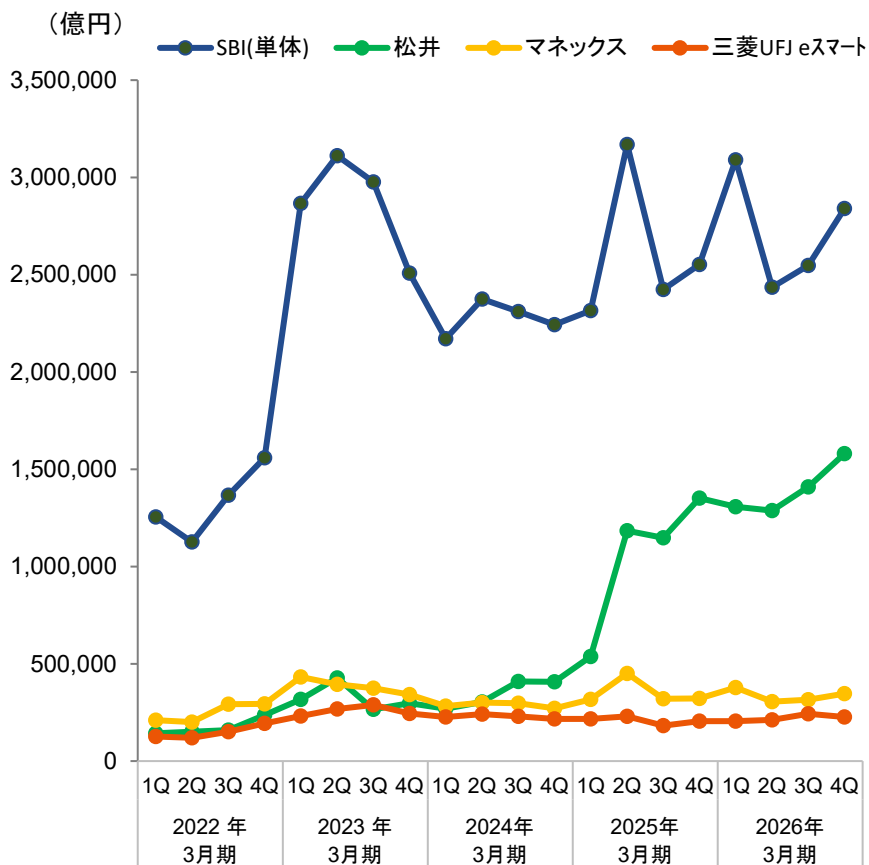
＜売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄＞
(2026年3月末現在)



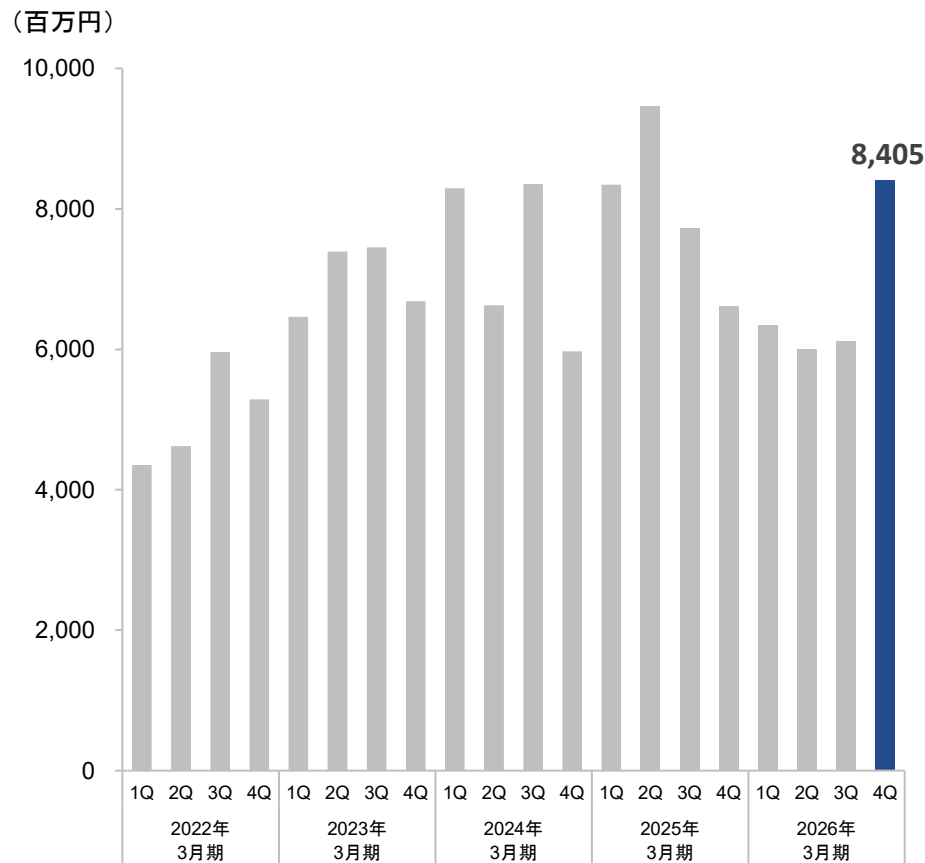
※投信積立金額、SBIラップ積立金額、外貨建MMF積立金額の合計値

FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>



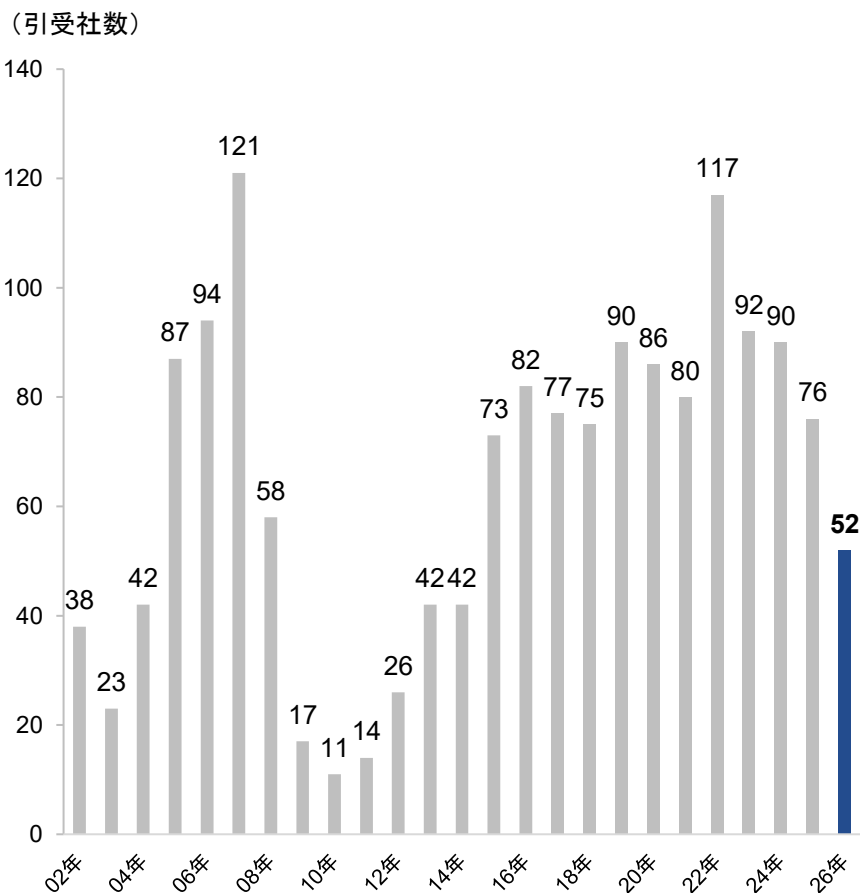
<FX収益推移>



新規公開株式(IPO)の引受実績

- 2025年4月から2026年3月までの上場会社数は54社。
- 同期間のSBI証券引受関与率は96.3%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2025年4月~2026年3月)>

社名	件数	関与率
SBI	52	96.3%
松井	37	68.5%
楽天	37	68.5%
マネックス	21	38.9%
岡三	30	55.6%
岩井コスモ	29	53.7%
みずほ	27	50.0%
野村	22	40.7%
SMBC日興	27	50.0%
大和	25	46.3%
東海東京	13	24.1%

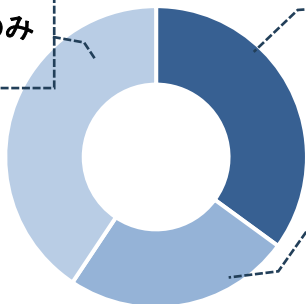
※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

NISA口座の状況

<NISA投資枠利用状況>

(2026年3月末時点)

つみたて投資枠のみ
40.6%



成長投資枠のみ
35.0%

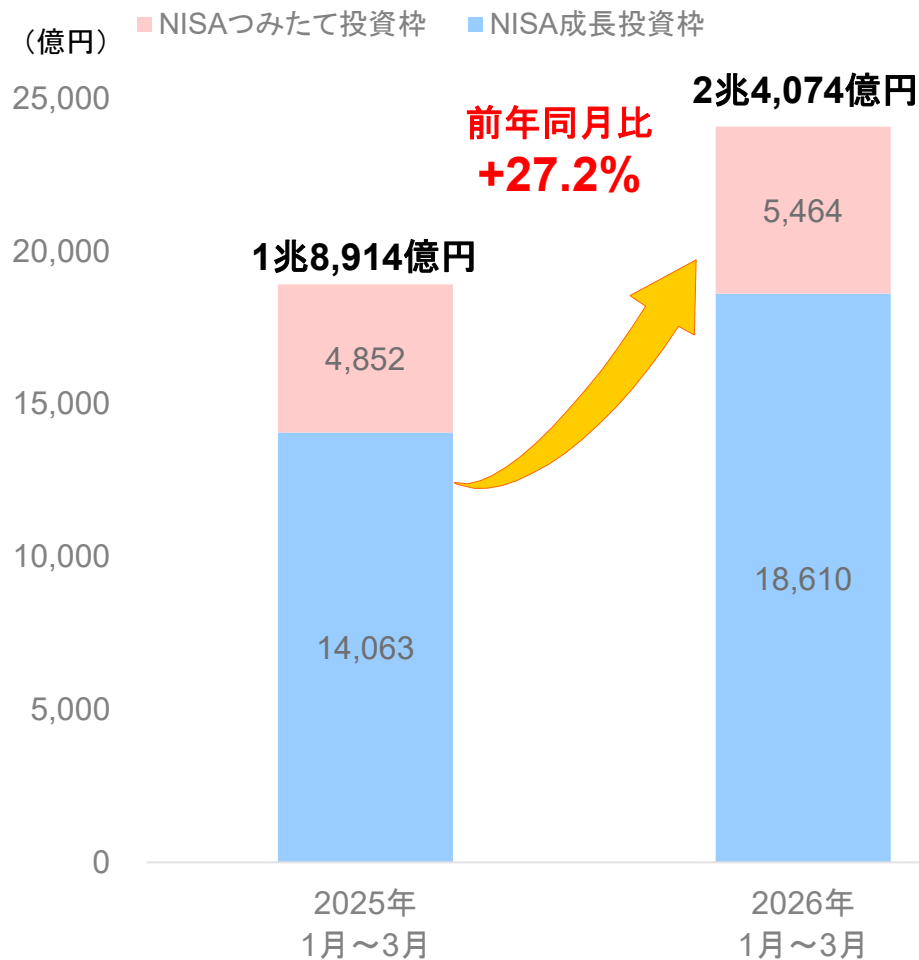
両枠併用
24.3%

<国内株式買付金額上位銘柄>

(2026年1月～3月累計)

No.	銘柄名(銘柄コード)
1	任天堂(7974)
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)
3	NTT(9432)
4	ソフトバンクグループ(9984)
5	本田技研工業(7267)
6	伊藤忠商事(8001)
7	三菱重工業(7011)
8	トヨタ自動車(7203)
9	ソニーフィナンシャルグループ(8729)
10	SBI新生銀行(8303)

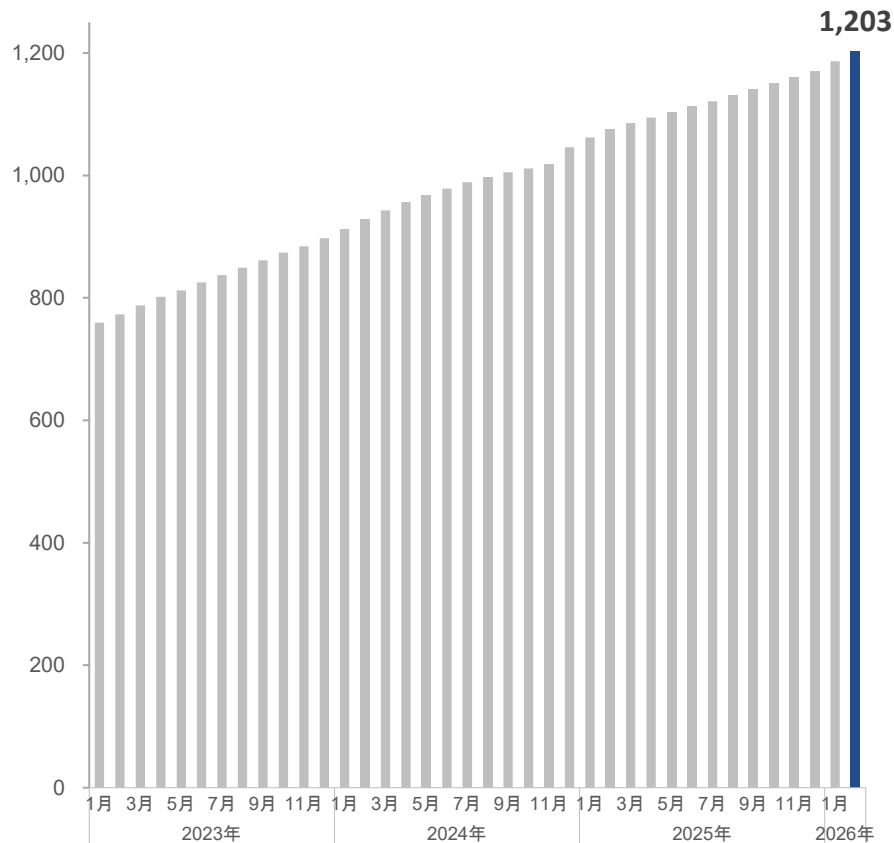
<NISA買付金額>



iDeCo口座数・残高の推移

<iDeCo口座数の推移>

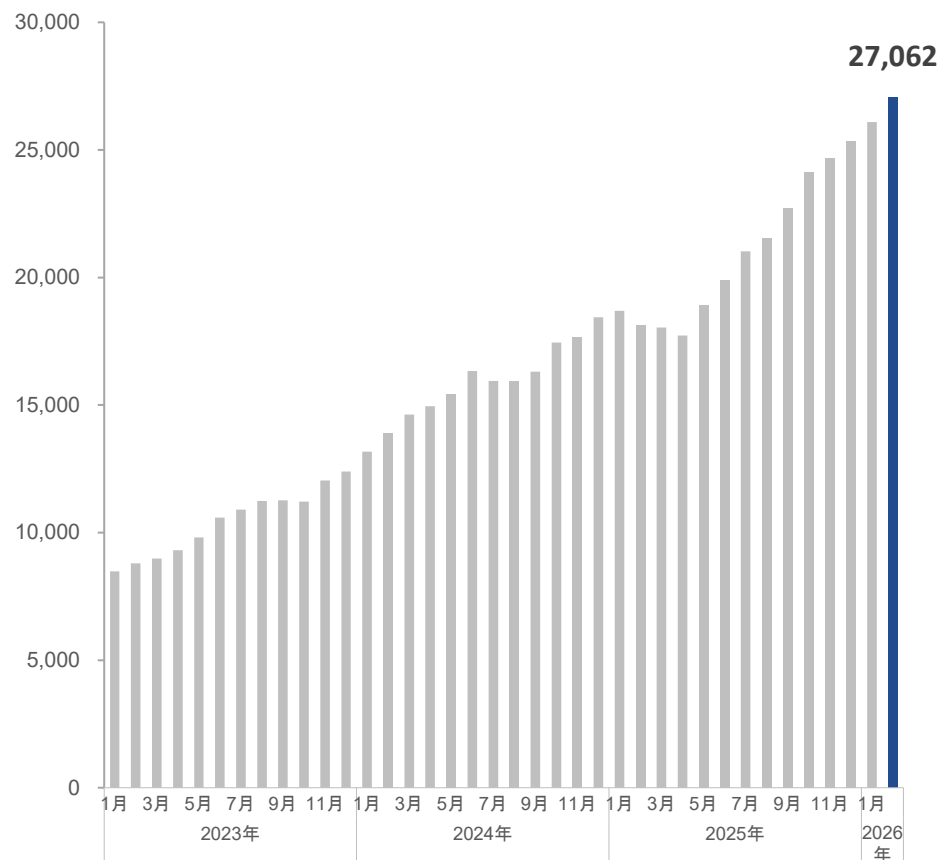
(千口座)



※加入者・運用指図者の合計
 ※出所：国民年金基金連合会

<iDeCo残高の推移>

(億円)



※残高は当社集計

2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2025年 4～6月	<ul style="list-style-type: none">• POマイレージの提供を開始(2025年5月)• JCBオリジナルシリーズでのクレジットカード投信積立サービスの提供を開始(2025年5月)• 海外出国時の継続保有可能商品の拡充(2025年5月)• SBI FX、200万口座を達成(2025年6月)• 総合金融サービスOliveの新たな資産運用サービスの提供に向けてSMBCグループと業務提携を公表(2025年6月)• 2025年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査にて、9年連続となる「証券業種」顧客満足第1位を獲得(2025年6月)

2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2025年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> • 預り資産残高50兆円を突破(2025年6月) • 「J.D.パワー2025年NISA顧客満足度調査SM」<ネット証券部門>3年連続1位、「J.D.パワー2025年個人資産運用顧客満足度調査SM」<ネット証券部門>総合満足度ランキング1位を受賞(2025年7月) • 「SBIラップ」残高1,500億円を突破(2025年7月) • 取引所CFD「くりっく株365」、100万口座を突破(2025年7月) • 外貨建債券残高1兆円を突破(2025年7月) • SBIマネープラザ株式会社、株式会社400Fと資本業務提携に向けた基本合意を締結(2025年7月) • 投資信託の預り残高20兆円を突破(2025年8月) • SBI新生銀行とSBIマネープラザによる共同店舗の預り資産残高5,000億円を突破(2025年8月) • SMBCグループの金融商品仲介口座による投信残高2兆円を突破(2025年8月) • 暗号資産等に対応した店頭CFDサービス(SBI CFD)の提供を開始(2025年8月)

2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2025年 7～9月	<ul style="list-style-type: none">• セキュリティトークンのセカンダリーマーケット(二次流通市場)取引におけるステーブルコインを活用したDvP決済に係る実証プロジェクトを開始(2025年8月)• HDI-Japan「問合せ窓口格付け」および「Webサポート格付け」において「三つ星」を獲得(2025年9月)• SBIグループとSMBCグループとの合併による新会社「株式会社Oliveコンサルティング」を設立(2025年9月)• 証券会社が運営する公式YouTubeチャンネル登録者数No.1の「ビジネスドライブ！」にてチャンネル登録者数50万人を突破(2025年9月)• SBI新生銀行との預り金自動スweepサービス「SBIハイパー預金」の提供を開始(2025年9月)• auフィナンシャルグループとのリテール分野における業務提携を開始(2025年9月)• 株式会社Ridge-iと次世代の生成AIチャネル開発に向けた協業を開始(2025年9月)• 国内初となる、ブロックチェーン技術を活用した個人投資家向けプライベートエクイティファンド投資商品を開発(2025年9月)

2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2025年 10～12月	<ul style="list-style-type: none">• 業界初となる「e-iDeCo (iDeCo各種手続きオンライン申請)」サービスの提供を開始 (2025年10月)• 「かんたん積立アプリ」のデザインリニューアルを実施 (2025年11月)• 株式会社東北銀行との入金サービス「東北銀行 リアルタイム入金」の提供を開始 (2025年11月)• 「第28回企業電話対応コンテスト」にて国内唯一となる4年連続、通算6度目の「会長賞」受賞及び「ゴールドランク企業」認定 (2025年11月)• 国内初となる証券総合口座1,500万口座を達成 (2025年11月)• PC版FX取引ツール『HYPER SBI FX』の提供を開始 (2025年11月)• 投資信託「定期売却サービス」機能を拡充 (2025年12月)

2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2025年 10～12月	<ul style="list-style-type: none">• SBI新生銀行との連携サービス「SBIハイパー預金」が残高5,000億円を突破(2025年12月)• 預り資産残高60兆円を突破(2025年12月)• 「SBIラップ」第4弾、三井住友DSアセットマネジメントが投資助言を行う「SBIラップ ALL株式コース」の提供を開始(2025年12月)• 国内初のトークン化預金によるセキュリティトークン決済の実発行検証に関する協業を開始(2025年12月)

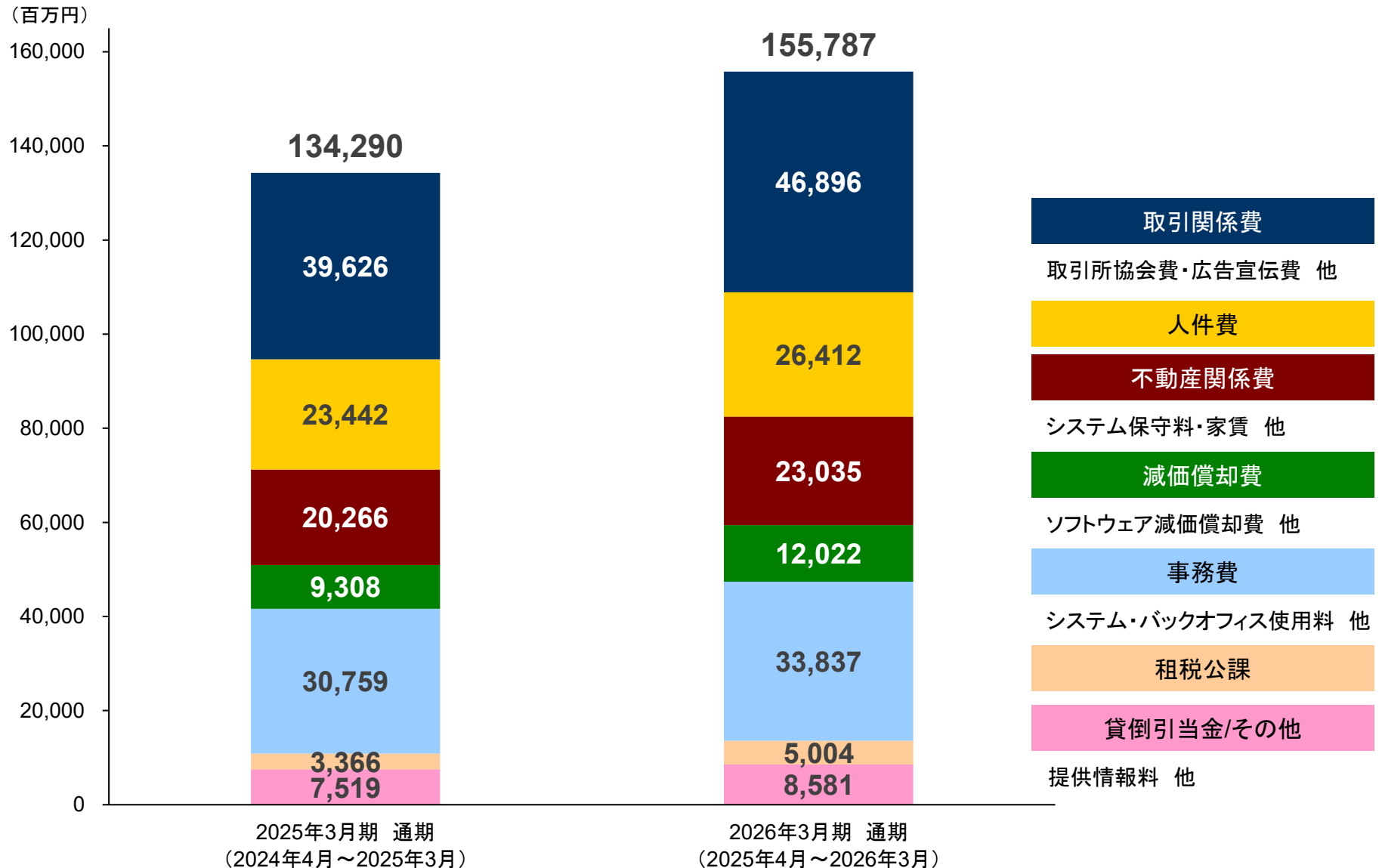
2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2026年 1～3月	<ul style="list-style-type: none">• 国内株式の一般信用新規取引のSOR注文およびPTS注文の取扱いを開始(2026年1月)• SBIハイパー預金 残高1兆円を突破(2026年1月)• クレジットカード決済による投資信託の積立サービス 月間積立設定金額1,000億円を突破(2026年1月)• 外国株式取引サイトおよび金・銀・プラチナ取引サイトをリニューアル(2026年1月、2月)• 投資一任サービス「SBIラップ×SBI新生銀行」預り資産残高1,000億円を突破(2026年1月)• 「資産運用フェス 2026-Spring-」を開催(2026年2月)• 新たな資産管理アプリ「SBI証券Plus」の提供を開始(2026年2月)

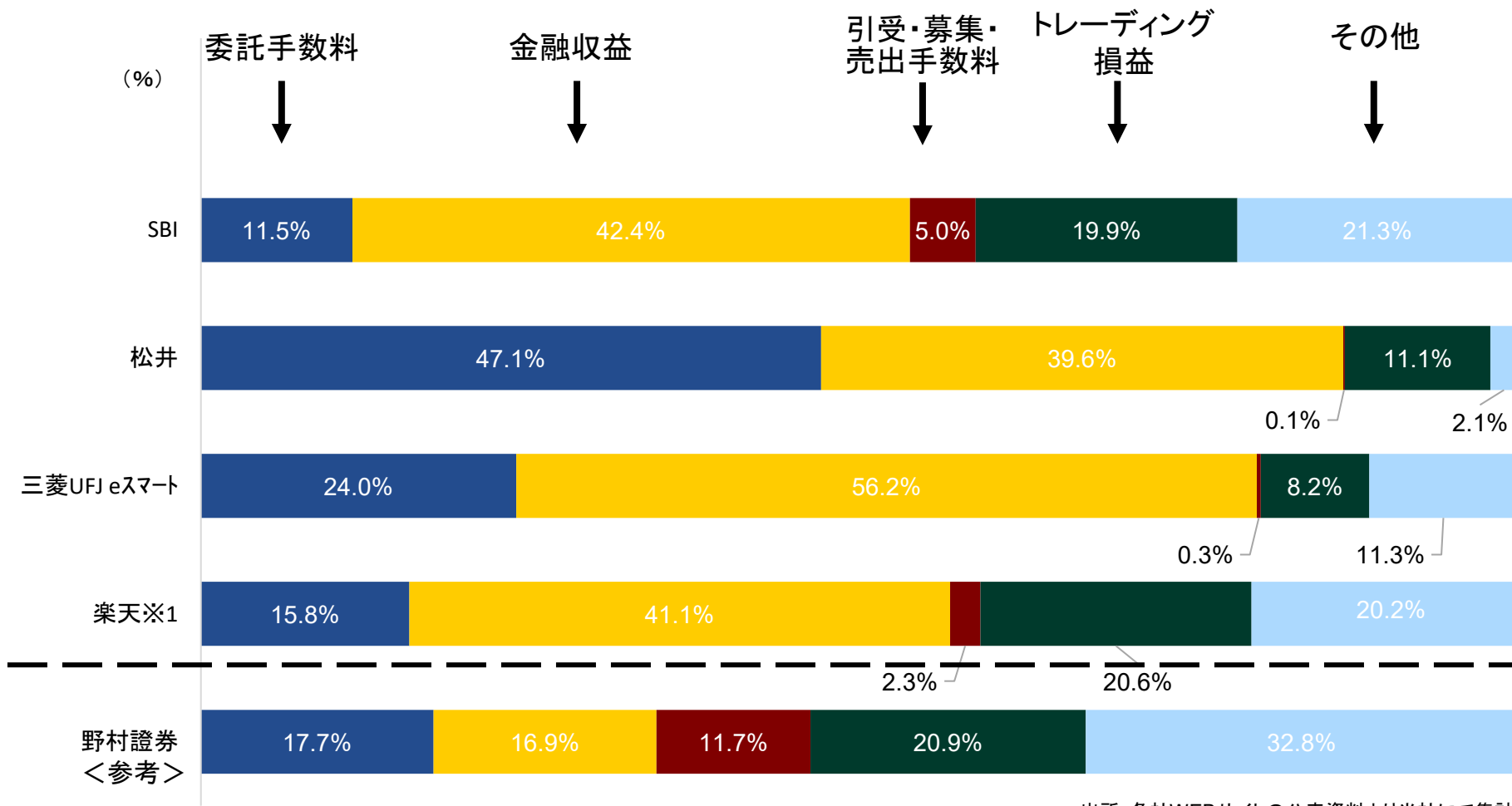
2026年3月期 通期の主な取り組み・トピックス

実施時期	取り組み内容
2026年 1～3月	<ul style="list-style-type: none">• SBIホールディングス初のST(セキュリティ・トークン)社債 愛称:SBI START債を取扱い(2026年2月)• 公式YouTubeチャンネル「ビジネスドライブ!」の登録者数が75万人を突破し、金融業界No.1を達成(2026年2月)• セキュリティ・トークン活用PE運用商品の取り組みで「Japan Financial Innovation Award 2026」大賞および「東京金融賞2025」オーディエンス賞を受賞(2026年3月)• 「三井住友カード つみたて投資」月間積立金額1,000億円を突破(2026年3月)• SBI証券と岡三証券による「岡三オンライン証券」事業に係る吸収分割契約を締結(2026年3月)

販売費・一般管理費の内訳



主要インターネット証券各社 2026年3月期 通期営業収益構成比



主要インターネット証券はSBI証券、楽天証券、松井証券、三菱UFJ eスマート証券

マネックスグループは、マネックス証券の持分法適用会社化により除外

※1 楽天証券の数値は、2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2025年4月～2026年3月の期間での数値を使用

＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

＜金融商品取引法等に係る表示＞

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者
登録番号 関東財務局長（金商）第44号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会